

みずほCustomer Desk Report 2016/07/14 号(As of 2016/07/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.64 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.73	1.1060	115.81	0.9893	1.3268	0.7602
SYD-NY High	104.88	1.1120	116.23	0.9895	1.3340	0.7638
SYD-NY Low	103.91	1.1042	114.96	0.9822	1.3134	0.7578
NY 5:00 PM	104.46	1.1089	115.87	0.9854	1.3150	0.7609
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.525/15.025		△25RR	1.125	Yen Call Over	
NY DOW	18,372.12	24.45	債券市場	日本2年債	-0.3510	▲0.5bp
NASDAQ	5,005.73	▲17.09		日本10年債	-0.2800	▲1.0bp
S&P	2,152.43	0.29		米国2年債	0.6651	▲2.4bp
日経平均	16,231.43	135.78		米国5年債	1.0602	▲2.6bp
TOPIX	1,300.26	14.53		米国10年債	1.4743	▲3.6bp
シカゴ日経先物	16,425	▲175.00		独10年債	-0.0620	2.9bp
ロンドンFT	6,670.40	▲10.29		英10年債	0.7450	▲8.3bp
DAX	9,930.71	▲33.36		豪10年債	1.9760	3.2bp
ハンセン指数	21,322.37	97.63		USD/CNH	6.6899	▲0.0069
上海総合	3,060.69	11.31		ドルインデックス	96.22	▲0.23
USDJPY 3M Vol	12.77	▲0.36%	商品市況	CRB指数	188.589	▲1.64
USDJPY 6M Vol	12.25	▲0.31%		NY金	1,343.600	8.30
EURJPY 3M Vol	13.42	▲0.39%		WTI	44.750	▲2.05
EURJPY 6M Vol	13.12	▲0.38%		Dubai Spot	43.54	0.31

東京	前日海外時間で9時平均が史上最高値を更新、原油先物相場も上昇したリスク選好度の高い地合を引き継ぎ、ドル円は東京時間オープン前に104.88まで上昇。東京時間104.73レベルでオープン後、本邦輸出企業の売が見られた他、日経平均が300円超高から徐々に上げ幅を縮める動きにドル/円はやや上値が重くなると、菅官房長官の「ヘリコプターマネーを検討している事実ない」とのヘッドライン直後には103.95まで下落、しかしながら104円割れの水準では押し目買い意欲が旺盛で反発すると、その後は目先の手掛かりを欠いて104円台前半で揉み合い推移し、104.19レベルで海外時間に渡った(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は104円台後半まで上昇した後、再び104円台半ばへ反落する展開となった。朝方は104.19レベルでオープン、ロンドン時間午前中に本邦政府関係筋の10兆円の刺激策を検討との話が再びブルームバーグから報道されるとドル円は104円台後半まで上昇。その後NY勢が参入する頃に米長期金利が一段と低下したことを受けドル円は下落し、104.62レベルでNYへ渡った。また、ロンドン時間のユーロドルは1.10台半ばから後半へ上昇。朝方は1.1063レベルでオープンし、欧州株の軟調な出だしを受け一時1.10台半ばまで下落。しかしその後欧州株が前日比プラスに転じ、かつドル円の上昇をうけ堅調となったユーロ円にもつられる形で1.10台後半まで上昇し、1.1075レベルでNYへ渡った(ロンドントルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.64レベルでオープン。朝方は食料や飲料品等の低下を受け、米6月輸入物価が予想を下回り、ドル円は104.46まで反落する。その後暫くは狭いレンジでの推移が続くが、米金利が低下し堅調にスタートしたダウがマクドナルドへ反落する展開にドル売りが優勢となり、短期筋の売りも持ち込まれているとの話に加え、アトランタ連銀が7月のビジネス・インフレ期待が6月分から小幅に低下したと発表したこともあり、103.91まで下落する。午後は、ページブックが発表されたが特に目新しい内容ではなかったことからドル円の特段の反応はなかったものの、軟調な株式市場が切り返す展開にドル円は下げ渋り、104.45まで戻す。終盤に掛けては、狭いレンジでの推移が続く、104.46レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場で1.1042まで下落する局面もあったものの、その後は下げ渋り、1.1075レベルでNYオープン。朝方はドル売りが先行したことから1.1120まで上昇するが、このレベルでは利益確定の売り意欲もあり、1.1110付近での推移が続く。終盤に掛けては再びドル買いが優勢となったことからじり安で推移し、1.1089レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月13日	10:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁、講演	-	-
	13:30	日 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	5月 -2.6%/-0.4%	-/-
	18:00	欧 鉱工業生産・確報値(前月比/前年比)	5月 -1.2%/0.5%	-0.8%/1.3%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	7/8週分 7.2%	-
	22:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-
	23:00	加 BOC政策金利	0.50%	0.50%
7月14日	03:00	米 ページブック	-	-

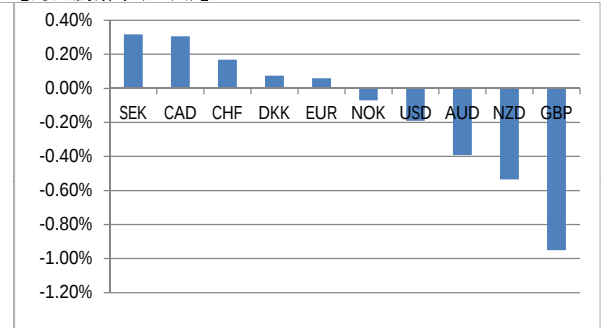
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月14日	08:50	日 対内・対外証券投資	7/8週分 -	-
	10:30	豪 雇用者数/失業率	6月 10.0K/5.8%	17.9K/5.7%
	20:00	英 BOE政策金利/資産購入目標	7月 0.25%/£3.750B	0.50%/£3.750B
	21:30	米 新規失業保険申請件数	7/9週分 265K	254K
	21:30	加 新築住宅価格指数(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.2%	0.3%/2.1%
	21:30	米 PPI/コアPPI(前月比)	6月 0.3%/0.1%	0.4%/0.3%
7月15日	00:15	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁、講演	-	-
	02:15	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁、講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.80-105.80	1.1050-1.1200	115.00-117.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は往って来いの展開、本邦政府による財政出動や日銀による追加緩和実施への期待から、ドル円は104円台後半まで上昇。その後、米6月輸入物価指数、同6月財政収支の結果を受けてドル売りが強まると、103.91まで下落。原油価格が下落したことも相場の重石となった。しかし、米株が底堅く推移したこと等から結局ドル円は104円台半ばまで戻した。本日は、イングランド銀行(BOE)の金融政策委員会を控えアジア時間は小動きになるものの、海外時間にはある程度値幅が出ることを想定。Brexit後としては初となる今会合で、BOEは政策金利を引き下げると予想されているが、同会合で今後の景気見通しや追加緩和策の内容についてどのような議論がなされたかも注目される。折しも英国では昨日メイ氏が首相に就任し、次期英首相に対する政治的不透明感は払拭された。ここでBOEが英政府と連携して景気底割れを回避するための強力な緩和策を示せば、リスクセンチメントの改善により短期的にドル円が上昇するタイミングがあると考えられる。